



上末吉福祉だより

発行 上末吉地区社会福祉協議会 会長 渡邊 武

報 告

やよい会 6/15

対象：65 歳以上の一人暮らしの方 申込：各町会民生委員

昭和 63 年 2 月に“やよい会”と名付けられた「上末吉地区自宅福祉サービス給食会」は永い時を経て、現在は「独居高齢者食事会」として毎月一回実施されています。区・駒岡地域ケアプラザの協力で季節に応じた健康面の話、血圧測定。民生委員による食事会にふさわしい会場作り。お料理の作り手は各町内会婦人部、消費生活推進委員、各町会婦人部長が持ち回りで協力をして実施されています。今回は 6 月の料理を作ってくれた人、その料理を頂いた人にそれぞれの感想を書いていただきました。日程は 4P のカレンダーをご覧ください。

十人のエプロン部隊

私達は常にいそいそと出陣する。試食・献立・食材仕入・調理・片付・反省会。「させて頂く」の心境で赴く。参加される方々がいて下さる、部隊の力が発揮出来る、見事な需要供給のバランスである。私達は全員、覗き見大好き人間の集合体。御客様の食事風景をそっと伺う。御顔の色は？ 声の調子は？ 笑い声は？ 表情は？ 隣同士の会話は？ そして箸の進み具合は？ “おいしい”は？ これらの把握後、柱の陰でガッツポーズ。十人の頭上を爽やかな風が吹き渡り、ほっこりと心温まる時が流れる。チャンスを頂き有難う。さあ!!

次回も皆様の笑顔と再会したいものですね。

それでは又、お目に掛りましょう。

エプロンの洗濯とアイロンを!!

「四丁目」6月やよい会

食事当番町会



土橋 小夜子さん

「やよい会」へ

出席するようになって約三年目になります。一人暮らしをしている者にはそれはそれは楽しい月一回の食事会です。まず看護師さんの血圧検査「いいですね」といわれると嬉しい、日々の生活の注意、オレオレ詐欺の注意等々。最近では館長さんの発案で昔の歌等も合唱。そして運ばれて来るお膳は料亭に行った様です。お盆にメインのおかずを始め、彩りよく皿や小鉢が並び。そして最後のデザートまでの心づくし、大変なことだと思います。伺うと各町会の婦人部の方々が前の月と重ならない様に肉の次は魚・煮物・野菜と心配りをなさるとの事、味は薄味に煮物は柔らかく食べやすい様にと大変な心遣いをなさる由、本当に頭が下がります。一日中口も利かずに過ごす事もあります。この日ばかりは大いにお話をし、笑い合い、楽しいひと時を過ごします。足を鍛えいつ迄も元気に参加したいと思います。

心から感謝申し上げます。



山地 定子さん

金曜えがお亭 7/6

7月第一月曜日の金曜えがお亭。この日は朝からの雨、その雨の中、一人また一人と自由な雰囲気に参加者が会場に入ってきました。早い時間から今日のテーマを決める等打合せをしていたボランティアの方達と挨拶を交わしながらゆったりとえがお亭が始まりました。ハーモニカの演奏でまず軽い屈伸運動、それから懐かしい歌を5・6曲、思いっきりの発声ですますますなごやかな雰囲気になりました。この活動に連携している駒岡地域ケアプラザ包括支援センターの職員による今の季節の注意事項などのお話の後、“エーッ知らなかったー”と感心するクイズ、その後和服に着替えて、出囃子も流れての落語一席。参加者も笑顔の世界に遊んでまさに“えがお亭”一度見学においでください。



始まりはハーモニカから (^_^)
曲に合わせて屈伸運動・合唱…

日程 4P 参照
会場 末吉地区センター
六時五十分～十二時
十歳以上の月方





高齢者と事故 !! Part 13



調査報告します

高速道路の逆走、コンビニに突っ込む、歩行者を跳ねるなど、高齢者のさまざまな運転ミスによる交通事故がニュースになっています。

皆さん不思議に思いませんか？ 高齢者の運転技術が10年前より落ちている？ 高速道路の逆走は、以前はなかったの？

1. 高齢者の事故は本当に増えているの？

再び思い出してください。日本の高齢化率は？ 2016年10月1日現在、65歳以上の人口は3,459万人、総人口に占める割合（高齢化率）は27.3%となっています。

このことと連動して、高齢者の運転免許証保有も上昇。『平成29年版交通安全白書』（内閣府、この年、高齢者の事故が特集されました）によると、平成28年末の運転免許保有者数は約8,221万人で、27年末に比べ約6万人（0.1%）の増加にすぎないのに、75歳以上（後期高齢者）に限って見てみると約513万人（75歳以上の人口の約3人に1人！）で、約35万人（7.3%）も増加し、今後も増加すると推計されています。免許証を持っているひと全員が運転を継続しているわけではありませんが、高齢ドライバーの数は確実に増えているでしょう。

そこで、同じ交通白書から、高齢者が引き起こした死亡事故の数を見てみましょう。

免許を持っている人10万人あたりの死亡事故件数は、《13-24歳》7.2件と《75歳以上》8.9件が突出しています。これに次ぐのが《70-74歳》4.5件で、他の年齢区分は3件台ですから、死亡事故はやはり若者と高齢ドライバーによるものが多いということがわかります。

また、75歳以上運転者による死亡事故件数は10年間で423件から459件に増加しており、死亡事故件数全体に占める割合は7.4%から13.5%に増えています。高齢者が起こす重大交通事故は増えているといつてよいでしょう。

2. 最近の報道から

5月28日、神奈川県茅ヶ崎市で90歳女性の運転するクルマが歩道にいた4人をはね、1人が死亡、3人が重軽傷を負う悲惨な事故が起こり、女性は逮捕されました。

信号無視が直接の原因ですが、女性は直前の認知検査でも異常なしでした。息子さんの談話として、「母は若いと思っていたと思う」と、新聞にありました。また、今回の免許更新を最後に、次回は返上しようと考えていたようです。

2年前には、横浜市でも87歳の男性が運転する軽トラックが登校中の小学生の列に突っ込み、小学1年生の男児が犠牲になる事故がありました。運転者には認知症の疑いがあり、アクセルとブレーキを踏み間違えたようです。



3. 高齢ドライバーの特性は？

加齢とともに、誰でも、遅かれ早かれ、動体視力の低下、複数の情報を同時に処理することが苦手、瞬時の判断力が落ちる、反射神経が鈍くなるなどの、運転にとって重要な能力が落ちてきます。さらに、認知症が加わると、アクセルとブレーキの踏み間違えが起こってきます。高速道路を逆走したり、鉄道の線路を走ってしまった高齢運転者もいました。どこを走っているのかわからなくなり、パニックになったとういことです。

こうした運転能力の低下は誰にでも起こりますが、程度や時期は個人差が大きいので、「私はまだ大丈夫」と思いがちです。しかし周りの人の意見もよく聞くことが大事ではないでしょうか。

4. 免許更新時に行われる高齢者講習

免許証の更新時に70歳以上になる人は高齢者講習を受けなければなりません。都道府県公安委員会から案内が届くので、速やかに予約しましょう。また75歳以上なら、認知機能検査を受け、その結果に基づき、高齢者講習を受けることになります。これらは無料ではなく、手数料がかかります。

【高齢者講習（認知機能検査）料金】

- ・70歳から74歳の方
5,100円（講習手数料のみ）
- ・75歳以上の方（認知機能検査の結果が第3分類の方）
5,850円（認知機能検査手数料750円+講習手数料5,100円）

- ・75歳以上の方（認知機能検査の結果が第2分類及び第1分類の方）
8,700円（認知機能検査手数料750円+講習手数料7,950円）

さらに、75歳以上のドライバーが下記の違反行為をした場合には、臨時認知機能検査を受けなければなりません。

- ・信号無視 ・交差点優先者妨害 ・通行禁止違反 ・環状交差点通行車妨害等 ・環状交差点安全進行義務違反 ・通行区分違反 ・横断歩行者等妨害等 ・横断等禁止違反 ・徐行場所違反
- ・進路変更禁止違反 ・指定場所一時不停止等踏切不停止等 ・しゃ断踏切立入り ・交差点優先車妨害 ・合図不履行 ・交差点右左折方法違反 ・安全運転義務違反 ・指定通行区分違反
- ・環状交差点左折等方法違反 ・優先道路通行車妨害等 ・交差点安全進行義務違反

臨時認知機能検査の結果、認知機能低下が一定の水準を超えていると、臨時の高齢者講習を受けなければならない、その費用は、臨時高齢者講習5,800円（講習手数料のみ）、臨時認知機能検査750円です。

5. 安全のための対策は？

では対策はといえば、いちばん安心なのは運転をやめること。もし、運転していて怖いと思ったことがあるなら、考えてみましょう。免許証を自主返上すると、希望すれば運転経歴証明書が発行され、これを身分証明書代わりに使えます。

免許証自主返上の手続きは、運転免許センター、管轄の警察署でできます。必要書類は申請書（用紙は運転免許センター、警察署にあります）と運転免許証です。

しかし、高齢になると荷物重い、足腰が痛いなどの、クルマに乗らざるを得ない生理的事情も出てきます。ですから、社会的にも、高齢者に使いやすい他の交通手段を確保する必要が求められます。すべてタクシーで肩代わりは無理ですよ。

私の友人に、夫の定年退職とともに東北地方の夫の故郷に移住した人がいます。横浜に住んでいたときは運転の必要もなく、運転免許証は持っていなかったのですが、田舎に住むと日々の買い物に困り、なんと60歳を過ぎて免許証を取りました。

「近くのスーパーに行くだけよ」と最初は笑っていましたが、この春は、雪が溶けて芽吹き出す田舎道

をドライブするのがとても楽しいと、晴れ晴れとした顔をしていました。高齢者になっても、運転をするからこそ経験できる楽しみもあるのです。免許証返上で高齢者の行動範囲が狭まることのない仕組みも必要でしょう。



6. 免許証自主返上の特典

免許証を返上するといろいろなお店で特典を受けられるということは皆さんご存知ですよ。でも、それってどこで受けられるの？ インターネットで神奈川県警のホームページや高齢者運転支援サイトを覗いてみました。しかし、具体的にはわかりにくい。それに、たとえば、補聴器購入の際に割引がある店、店頭金利に1年間だけ0.05%上乗せする銀行、ボーリング場の割引など、あまり魅力的ではありません。この辺ももう少し充実してほしいところです。

7. 高齢者と交通事故

ここまで、高齢ドライバーが加害者になる事故を見てきましたが、歩行者として事故に遭う高齢者のケースを見てみると、横断中死者の法令違反は、年齢が上がるにつれて増えていきますが、70歳以上になるとダントツに多くなります。違反の内容は、「走行中のクルマの直前や直後を横断する」が最も多く、「横断歩道以外を横断する」、「信号無視」と続きます。走っているクルマの直前を横断するのは注意力の低下でしょうし、横断歩道以外の横断は、横断歩道まで行かずに近道をしようとするからで、高齢による身体の衰えが理由かもしれません。しかしこうして命を落としている高齢者が多いことを知って、どうか、交通安全に努めてください。

また、自転車に乗っていて出会い頭に衝突した事故も、75歳以上で法令違反の割合が高く、「信号無視」や「一時停止をしない」、「安全義務違反」が多いという統計結果があります。運転だけでなく、歩くときも自転車に乗るときも、やはり交通規則を守ることが大切です。安全安心と家族みんなの幸福のため、事故に合わないようにしましょう。



もみじマーク



報告

平成29年度上末吉地区社会福祉協議会決算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

収入内訳

支出内訳

区社協補助金	570,700	庶務費	41,919
地区連合助成金	100,000	会食費	332,372
賛助会費返戻金	300,300	子育て支援事業	70,000
地区・協賛会費	50,000	活動費	203,650
会食時会費	90,200	広報費	27,110
その他の収入	23,000	研修費	78,734
利子	2	敬老の集い助成金	150,000
前年度繰越金	389,242	老人の集い助成金	150,000
		金曜えがお亭助成金	40,000
		寄付金	23,000
		渉外費	11,000
		次年度繰越金	395,659
計	1,523,444	計	1,523,444

◆平成29年度賛助会員協力のお礼

鶴見区社会福祉協議会賛助会員の募集に際しましては、多数の方々にご協力いただき、ありがとうございました。

29年度は上末吉地区社協の賛助会費は350,300円となり、55%が地区社協に還元されました。この貴重な還元金は今年度の活動の財源として活用させていただきます。

平成30度もまた新たに募集が始まりました。どうぞよろしく願いたします。

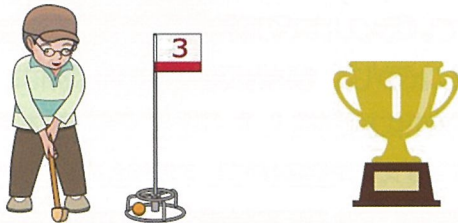
平成30年度募集期間

6月1日～12月28日

個人1,000円 法人5,000円

グラウンドゴルフ大会 6/30

例年より早い梅雨明けの熱い中、恒例のグラウンドゴルフ大会が開催された。熱中症が心配されたが、皆元気にプレーを楽しみ、僅差で三ツ池町会Bチームがみごと優勝を飾った。

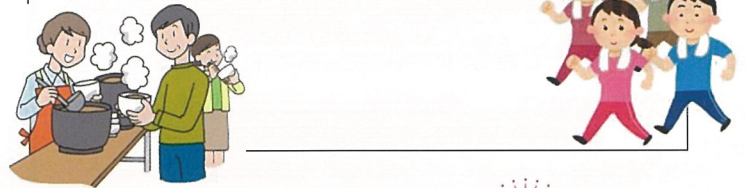


歩け歩け大会 4/7

歩け歩け大会も合流して、炊き出し訓練をおこなった。新しい炊飯器の使用に1・2丁目の方々が中心になって取り組んだ。

「どのように出来上がるのか心配しましたが、良く炊きあがりました。今までのより使いやすいですね」Sさん。

大会参加者も美味しくいただいた。



カ

レ

ン

ダ

ー

8月17日(金) やよい会

8月20日(月) ぽんぽこりん広場

9月7日(金) 金曜えがお亭

9月16日(日) 「敬老の集い」

9月20日(木) ぽんぽこりん広場

9月21日(金) やよい会

9月28日(金) 老人の集い

10月5日(金) 金曜えがお亭

10月7日(日) 「大運動会」

10月18日(木) ぽんぽこりん広場

10月19日(金) やよい会

11月2日(金) 金曜えがお亭

11月3日(土) つるみ夢ひろばi総持寺

11月16日(金) やよい会

11月19日(月) ぽんぽこりん広場

11月23日(金) 老人の集い